

事業名	入札監視委員会費			調書番号	91
細事業名	入札監視委員会費	財務コード	600301		
担当部課室	県土整備 部 県土整備総務 課 契約 担当 (内線)	7085			

事業の概要

実施期間	始期 H13 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(直営)			
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に 県が発注した工事に関する入札・契約手続の運用状況等。</td> <td>その対象をどのような状態にして 公正中立の立場で客観的に入札及び契約についての審議その他の事務を適切に行うことができる学識経験者を委員として5名を委嘱し、委員会で審議する。</td> <td>結果、何に結びつけるのか 公共工事の入札及び契約の適正化の促進を図る。</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に 県が発注した工事に関する入札・契約手続の運用状況等。	その対象をどのような状態にして 公正中立の立場で客観的に入札及び契約についての審議その他の事務を適切に行うことができる学識経験者を委員として5名を委嘱し、委員会で審議する。	結果、何に結びつけるのか 公共工事の入札及び契約の適正化の促進を図る。
だれ(何)を対象に 県が発注した工事に関する入札・契約手続の運用状況等。	その対象をどのような状態にして 公正中立の立場で客観的に入札及び契約についての審議その他の事務を適切に行うことができる学識経験者を委員として5名を委嘱し、委員会で審議する。	結果、何に結びつけるのか 公共工事の入札及び契約の適正化の促進を図る。		
内容	<p>1 県が発注した工事に関し、入札・契約手続の運用状況等についての報告を受ける。</p> <p>2 県が発注した工事のうち委員会が抽出したものに關し、一般競争入札参加資格の設定の理由及び経緯、並びに指名競争入札に係る指名の理由及び経緯等についての審議を行い、意見の具申または勧告を行う。</p> <p>3 一般競争入札、公募型及び通常指名競争入札並びに随意契約における入札契約手続にかかる再苦情処理を行う。</p> <p>4 1及び2については、年4回会議を開催し審議する。</p>			

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	入札監視委員会を年4回開催	目標	4	4	4	4	4	4
		実績(見込)	4	4	4	5	4	4
		達成率	100.0	100.0	100.0	125.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	a	b	b
成果指標	3ヶ月ごとに入札・契約した工事案件の中から、委員が抽出した案件について審議する。(1回の委員会につき7件程度審議)	目標	28	28	28	28	28	28
		実績(見込)	28	28	28	29	28	28
		達成率	100.0	100.0	100.0	104.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		291	263	246	259	211	430	386

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	原則年4回の開催を、当初の計画通り実施している。
成果指標	b		これまでの審議で審議された案件について、適正に処理が成されていると判断されている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	審議対象案件の抽出時に、落札率の高低や入札・応札者数の大小等、テーマを設定することで論点を明確にし、より深い審議を実現することが可能と考えられる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()
その他	説明	
見直しの必要性	有	審議案件の抽出において現在はランダムに案件を選択しているが、抽出方法の検討を行うことで、より充実した審議の実現につなげることが可能。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	落札率の高低や入札・応札者数の大小等、テーマを設定して案件を抽出することで論点を明確にし、より深い審議を実現する等運用面での見直しを行う。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。